

# 一人ひとりを大切にする学校 それが北高です。

北高の丁寧なキャリア教育が「人」を育てる。

進路指導とキャリア教育は違います。進路指導は高校卒業後の「出口」指導を主としていますが、キャリア教育は高校卒業後の進路を考えるのはもちろんですが、加えて自分自身の人生全体を考えさせることに力を置いています。

それでは、北高のキャリア教育とはどのようなものなのでしょう？その一つは、学年ごとの達成目標をしっかりと定めています。いろいろな人との豊かなコミュニケーションをとることができるようになります。

北高のキャリア教育は、目標に対する方策（手立て）が計画的に準備されていることです。北高では、3年間を見据えた計画的なキャリア教育を目標・計画・方策の3つのスクラムで進めていきます。



## 1年生

志スピーチ

キャリア教育講演会

カタリバ(語り場)

上級学校訪問

等を通じて、

- 易きに流されず苦しいことから逃げず、面倒くさがらずに行動できるようになる。
- 自分の適性がわかるようになる。
- どの生徒とも良好な関係を築けるようになる。
- 生徒自身で行事の企画・立案・運営ができるようになる。
- 働くことの意義について考えられるようになる。
- 卒業後の進路環境がわかるようになる。

## 2年生

キャリア教育講演会

企業訪問

キャンパス3デイズ

インターンシップ

等を通じて、

- 主体的に社会規範が守られるようになる。
- 各種行事のリーダーとしての経験ができる。
- 進路実現のための学習計画を立てられるようになる。
- 卒業後の具体的進路目標が設定できるようになる。

## 3年生

進路講演会

キャリア教育講演会

各コース別講座

社会人講座

を通じて、

- 各種行事でリーダーシップを発揮できるようになる。
- 他者への意欲的な働きかけができるようになる。
- あるべき将来像を実現するための具体的な計画を完成し、行動に移すことができるようになる。